

(第1回登米市上下水道事業運営審議会 資料)

# 登米市水道事業の概要について

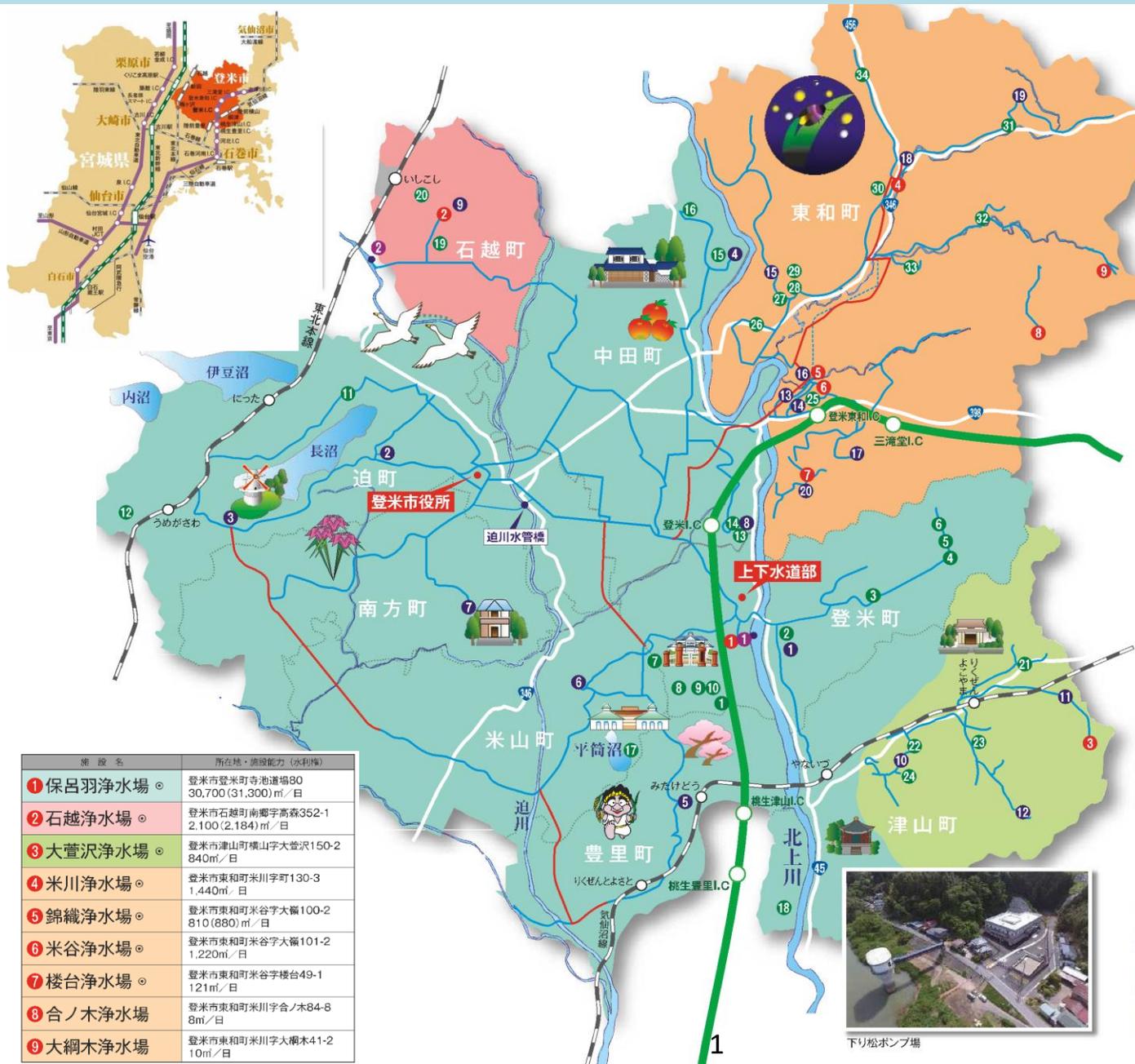


保呂羽浄水場風景



登米市上下水道部

# 登米市水道事業の概要①



行政区域面積  
536.09km<sup>2</sup>  
(東京23区627.57km<sup>2</sup>)

計画給水区域面積  
541.09km<sup>2</sup>

導・送・配水  
管路総延長(R5年度)  
1,412km

給水人口(R5年度)  
72,528人

施設名	所在地・処理能力(水利用)
① 保呂羽浄水場	登米市登米町寺港道場80 30,700(31,300) m <sup>3</sup> /日
② 石越浄水場	登米市石越町南郷字高森352-1 2,100(2,184) m <sup>3</sup> /日
③ 大萱沢浄水場	登米市津山町横山字大萱沢150-2 840m <sup>3</sup> /日
④ 米川浄水場	登米市東和町米川字130-3 1,440m <sup>3</sup> /日
⑤ 錦織浄水場	登米市東和町米谷字大福100-2 810(880) m <sup>3</sup> /日
⑥ 米谷浄水場	登米市東和町米谷字大福101-2 1,220m <sup>3</sup> /日
⑦ 楼台浄水場	登米市東和町米谷字楼台49-1 121m <sup>3</sup> /日
⑧ 合ノ木浄水場	登米市東和町米川字合ノ木84-8 8m <sup>3</sup> /日
⑨ 大綱木浄水場	登米市東和町米川字大綱木41-2 10m <sup>3</sup> /日

◎印は自家発電機を設置している施設

- ..... 旧町境界
- 主要配水管
- 緊急時用連絡管
- 保呂羽水系
- 石越水系
- 東和水系
- 大萱沢水系



下り松ポンプ場

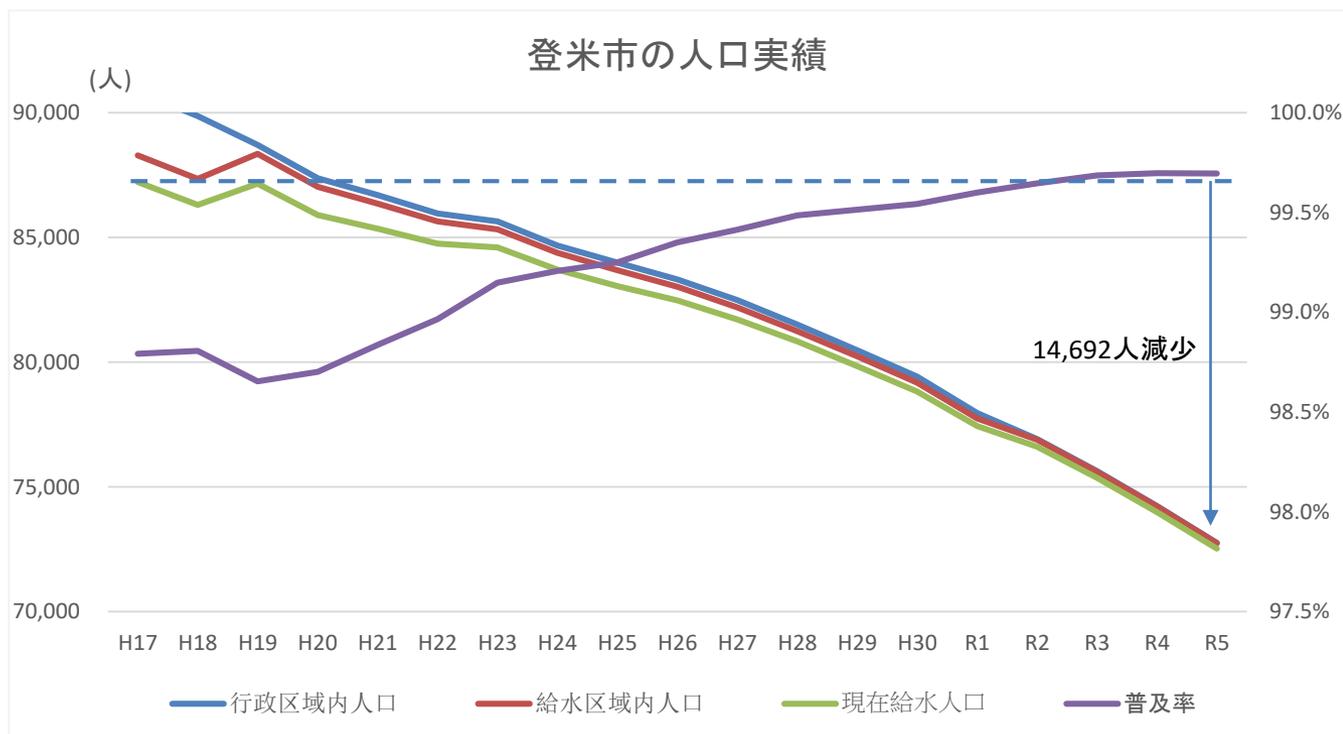
# 登米市水道事業の概要②〔浄水場の概要〕

施設名	給水開始年月	給水区域	施設能力	連絡管有無	水源	処理方式
保呂羽浄水場	昭和52年6月	迫町、中田町、登米町、南方町、米山町、豊里町、津山町柳津地区、石越町(一部)	30,700m <sup>3</sup> /日	有	北上川水系北上川(表流水)	薬品沈殿・急速ろ過、塩素減菌
石越浄水場	平成16年2月	石越町	2,100m <sup>3</sup> /日	有	北上川水系迫川(表流水)	薬品沈殿・急速ろ過、塩素減菌
大萱沢浄水場	平成10年1月	津山町横山地区	760m <sup>3</sup> /日	無	大萱沢(湧水)	沈殿池・緩速ろ過、塩素減菌
米川浄水場	昭和47年3月	東和町米川地区、米谷地区(一部)、錦織地区(一部)	1,420m <sup>3</sup> /日	有	北上川水系二股川(地下水)	塩素減菌・紫外線・脱炭酸処理
錦織浄水場	昭和32年4月	東和町錦織地区、米谷地区(一部)	850m <sup>3</sup> /日	有	北上川水系大関川(伏流水)	薬品沈殿・膜ろ過、塩素減菌
米谷浄水場	昭和55年3月	東和町米谷地区	1,200m <sup>3</sup> /日	有	北上川水系大関川(地下水)	塩素減菌、紫外線処理
楼台浄水場	平成12年4月	東和町楼台地区	110m <sup>3</sup> /日	有	北上川水系恩田川(地下水)	ろ過タンク方式・塩素減菌
合ノ木浄水場	平成17年4月	東和町合ノ木地区	8m <sup>3</sup> /日	無	北上川水系合ノ木川(表流水)	膜ろ過・塩素減菌
大綱木浄水場	平成17年4月	東和町大綱木地区	10m <sup>3</sup> /日	無	北上川水系上鱒淵川(表流水)	膜ろ過・塩素減菌

# 水道事業の概況

## ①人口の概況

登米市の行政区域内人口は平成17年度(合併当初)から平均で毎年1,000人程度減少を続け、令和5年度末で72,754人となりました。また、給水人口は72,528人で平成17年度末と比較し、14,692人減少しています。給水普及率は99.7%となっていますが、給水人口が大幅に減少しており、水道事業における収入の減少に直結する問題となっています。



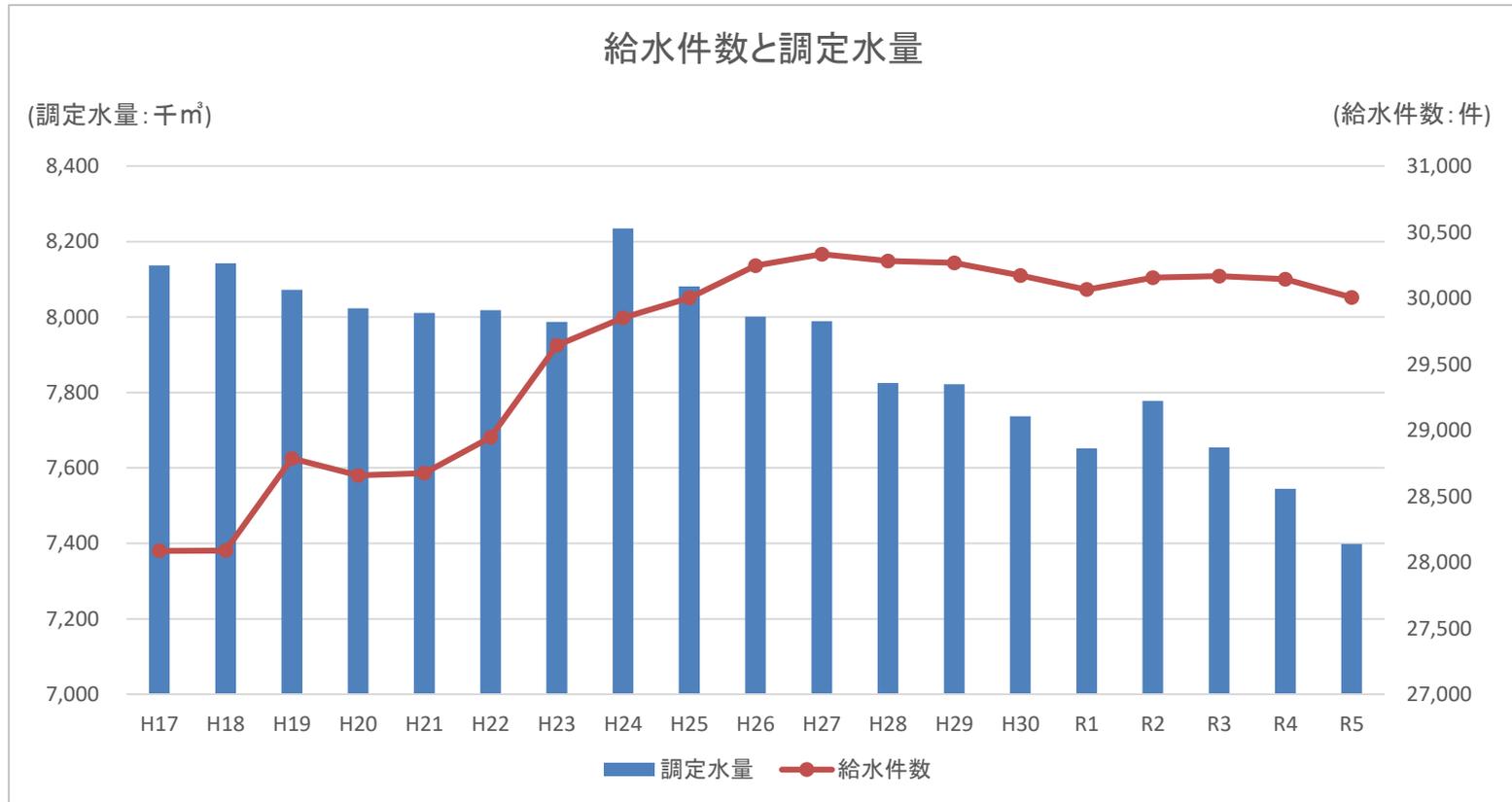
○行政区域内人口  
平成17年 90,850人  
↓  
令和5年 72,754人  
18年間で18,096人減少

○給水人口  
平成17年 87,220人  
↓  
令和5年 72,528人  
18年間で14,692人減少

項目	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
行政区域内人口	90,850	89,867	88,708	87,379	86,697	85,965	85,650	84,672	83,991	83,321	82,487	81,511	80,476	79,417	77,959	76,912	75,628	74,228	72,754
給水区域内人口	88,286	87,342	88,348	87,033	86,358	85,645	85,328	84,381	83,680	83,019	82,200	81,248	80,231	79,182	77,738	76,889	75,606	74,217	72,750
現在給水人口	87,220	86,300	87,159	85,903	85,354	84,759	84,602	83,712	83,053	82,480	81,719	80,830	79,841	78,820	77,444	76,617	75,369	73,992	72,528
普及率	98.8%	98.8%	98.7%	98.7%	98.8%	99.0%	99.1%	99.2%	99.3%	99.4%	99.4%	99.5%	99.5%	99.5%	99.6%	99.6%	99.7%	99.7%	99.7%

## ②給水件数と調定水量の推移

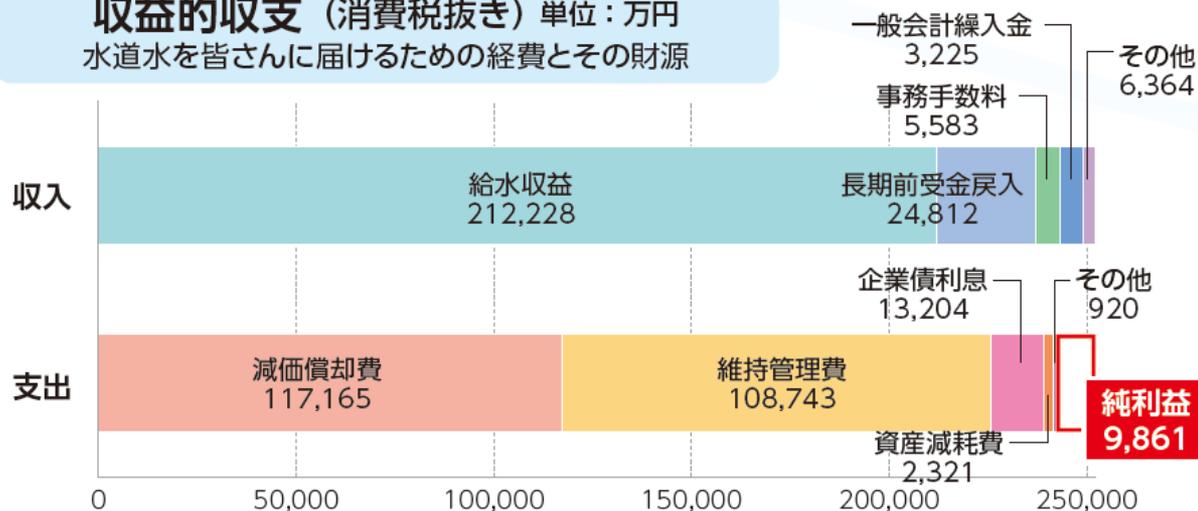
市内における世帯数の増加に伴い、給水件数は増加傾向となっていました。平成27年をピークに減少しています。また、調定水量も東日本大震災の影響により仮設住宅や賃貸住宅の増加により一時的に増加しましたが、減少傾向となっています。令和2年度において給水件数が増加していますが、**石越町駅前地区が栗原市から本市の給水区域に加わったため**です。



項目	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
給水件数	28,086	28,089	28,786	28,658	28,675	28,946	29,642	29,851	30,002	30,247	30,333	30,281	30,267	30,172	30,065	30,155	30,167	30,144	30,006
調定水量	8,137	8,143	8,072	8,023	8,011	8,018	7,987	8,235	8,081	8,001	7,989	7,825	7,822	7,737	7,652	7,778	7,654	7,545	7,398

# 令和5年度決算状況

**収益的収支（消費税抜き）** 単位：万円  
水道水を皆さんに届けるための経費とその財源

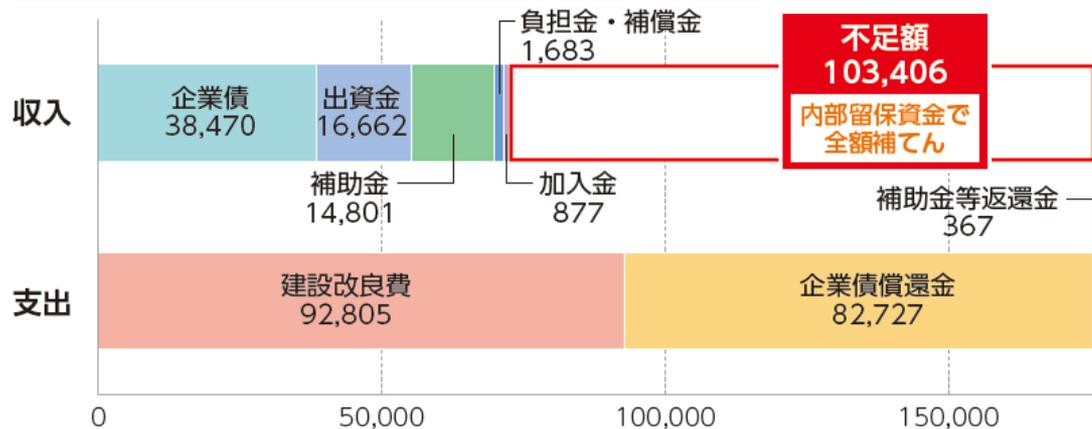


収入の約85%を占める給水収益（水道料金）は、料金改定の影響により、前年度より8,983万円増加しました。

支出は、資産の減価償却、維持管理費の縮減により、前年度より2,080千円減少し、当年度の純利益（黒字）は9,861万円となりました。

業務活動では資金が得られ、かつ借入残高を減少させながら業務を行うことができ、比較的安定した経営状況となりました。

**資本的収支（消費税込み）** 単位：万円  
水道施設を整備するための経費とその財源



保呂羽浄水場再構築事業の設計業務や基幹管路の更新事業などを行いました。

企業債（国からの借金）の借入や補助金などによる収入は7億2,493万円となりましたが、工事費や過去の企業債返済などに要した支出は、17億5,899万円となりました。

収入と支出の差額10億3,406万円は、内部留保資金で全額補てんしました。

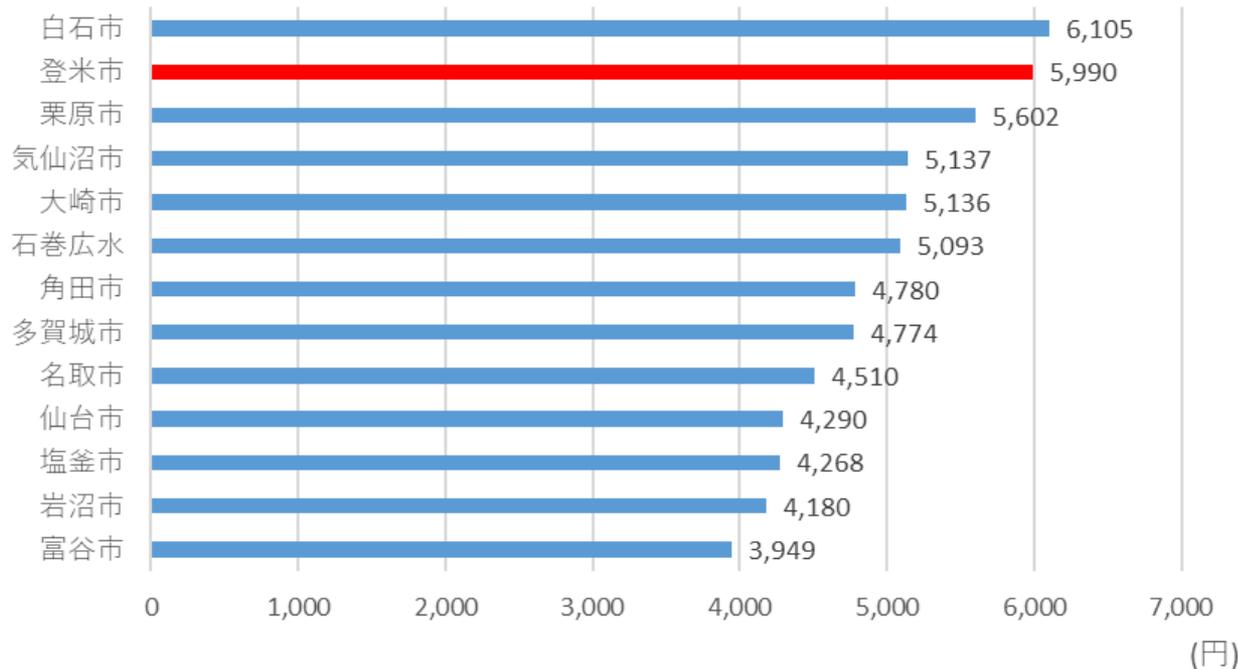
# 県内市との水道料金比較表

○県内13市(東松島は石巻広水※に含む)の比較 ※石巻地方広域水道企業団の略称名

令和6年4月1日現在、一般家庭用の口径20mmで20m<sup>3</sup>使用した場合、県内で2番目の料金となっています。

水道事業は、水道料金で経営する「独立採算制」が基本であり、料金は団体毎の実情に沿った金額を設定しています。

水道料金の他団体比較 (口径20mm/20m<sup>3</sup>使用時)



# 地震に強い水道への取り組み(水道施設の災害対策)

## ◆これまでの取り組み

- 東日本大震災の経験から、災害による施設被害やそれに伴う断水の影響を最小限にとどめるため施設整備を行い、安定給水の確保に努めてきました。



### 施設の強靱化

- 下り松ポンプ場を新設し取水方式の見直しを行い、より安定した取水が可能となった。
- 新田配水池を新設し迫川西部地区における配水拠点として整備を行い安定供給が図られた。



### バックアップ体制の強化

- 浄水場間で水の融通ができる連絡管を整備し、事故や災害時において浄水場に被害があった場合でも、水の供給が可能となり安定給水が図られた。
- 浄水場等に非常用電源設備を設置し、停電時において給水に必要な電力を確保した。



### 基幹管路の耐震化

- 災害時においても安定した水道水の確保を行うため、計画的に耐震性の高い水道管へ更新を実施している。

# 官民連携の推進

## ◆これまでの取り組み

- 包括民間委託を推進し需要家サービス向上や業務の効率化に取り組み経営の健全化を図っています。職員数も平成17年度から26名減の※24名で業務を行っています。 ※令和7年4月1日現在 水道事業職員数(会計年度任用職員含み)



### 料金徴収・給水装置管理等業務委託

- 水道料金の支払い、給水開始・休止の申込み、水道メーター検針、給水装置工事管理などの業務



### 浄水施設等管理運転業務委託

- 水道施設(浄水場、ポンプ場、配水池等)の維持管理及び運転業務



### 配水施設等維持管理運転業務

- 配給水施設等の維持管理、漏水調査及び緊急工事の施工及び精算業務。